

4 網干ブロック

（1）地域づくりの目標

① 地域の概況

網干ブロックは、大津茂・網干・旭陽・勝原・余部・網干西校区からなる地域です。

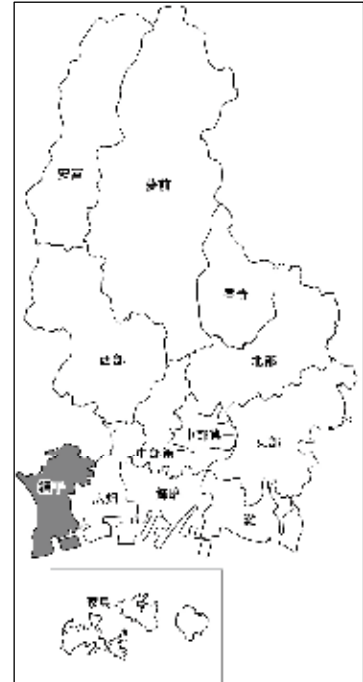
本地域は、海側の臨海産業地域と内陸側の市街地地域に大きく区分されます。地域中央部には農業振興地域が指定され、豊かな農地が広がっています。

網干は播磨風土記にも登場する長い歴史を持つまちで、また、中世から近世にかけては、揖保川、瀬戸内海という恵まれた水運による物流の拠点として栄えてきました。

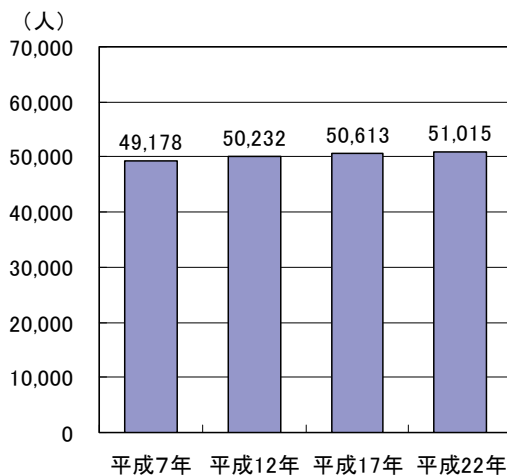
明治から昭和初期にかけては龍野電気鉄道（播州水力電気鉄道）が網干港駅を起点に地域の南北を通っていましたが、現在は、地域を東西に結ぶ山陽電鉄網干線やJ R山陽本線が通っています。

揖保川やその河口に広がる海辺の景観、朝日山等の豊かな自然環境に加え、伝統的な町家が残る興浜界隈の町並みや大覚寺、異人館等の文化財、「津の宮の提灯祭り」で知られる魚吹八幡神社など、これらの自然環境や歴史文化遺産は地域の魅力となっています。

平成20年3月には勝原区熊見でJ Rはりま勝原駅が開業し、周辺の大津区大津町では、広大な企業社宅跡地において段階的な市街地整備が進められています。

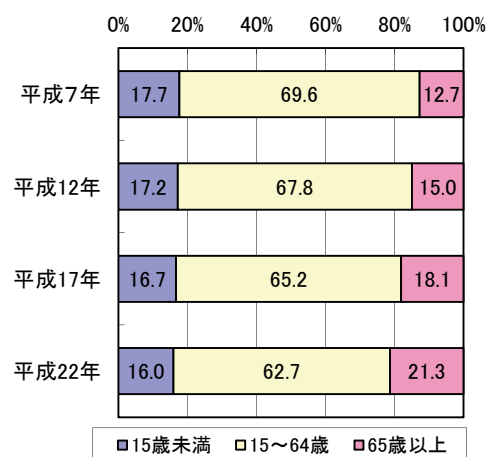


■ 人口の推移



資料：国勢調査

■ 年齢3区分別人口の推移



資料：国勢調査

② 地域づくりのテーマ

海辺の景観と駅前顔を持つ生活都市

③ 地域づくりの目標

◇ 利便性の高い魅力的な駅前の拠点づくり

山陽網干駅やJR網干駅・はりま勝原駅における駅周辺開発等を促進し、利便性の高い魅力的な駅前拠点の形成を目指します。

◇ 海辺のまちなみや田園環境と調和した生活環境づくり

水運による物流の拠点であった歴史を伝えるまちなみ、津の宮の提灯祭りなど地域固有の伝統、文化を育みながら、市街地内に残る田園環境と調和した生活環境の創出を目指します。

◇ 快適で安心して暮らせる住宅市街地づくり

歩行者のための安全な道路空間の確保や身近な自然とふれあえる緑豊かな都市空間の創出など、都市施設が整い快適で安心して暮らせる住宅市街地の形成を目指します。



山陽網干駅と市立図書館



地区計画による緑豊かなまちづくり（あやみの）

（２）地域づくりの方針

① 拠点等

ア 副核（西部副核）

- ・山陽網干駅周辺地区を位置付けます。
- ・商業機能の維持、充実と交通結節機能の向上を図り、西部副核にふさわしい行政機能、商業・文化・住機能を備えた拠点の形成を図ります。

イ 地域核

- ・JR網干駅周辺地区を位置付けます。
- ・駅北側における土地区画整理事業を推進し、市西部の玄関口として、交通結節機能の強化と土地の高度利用による商業機能等の充実を図り、地域住民の日常生活における利便性を高めていきます。

ウ 歴史街道軸

- ・本地域には、興浜界隈の歴史的な町並みや文化財など様々な歴史文化遺産があります。浜街道や室津道の古道を歴史街道軸として位置付け、街道沿いの歴史的町並みを保全するとともに、地域に散在する歴史文化遺産を散策、回遊できる歴史・文化ネットワークの形成を図ります。

② 土地利用

ア 商業系

- ・山陽網干駅周辺を拠点商業業務地、JR網干駅・はりま勝原駅周辺を商業業務地とし、公共交通の利便性等にも配慮しながら、商業施設や生活利便施設を誘導します。

イ 工業系

- ・余部区下余部等の既存の内陸工業地では、引き続き工業地としての土地利用を図ります。
- ・臨海工業地は、日本有数の化学系企業が集積する地域であり、今後も都市活力の源となる工業地の維持発展を図るとともに、快適な生活環境を支えるための供給処理施設用地等として利用を図ります。また、姫路港浜田地区では、遊休化した水面貯木場の埋立てを促進し、新規企業立地等のための産業用地として位置付けます。
- ・生活環境影響調査を実施し、周辺の住環境への影響や道路交通への影響等について支障がないと認められる廃棄物処理施設等については、その土地利用を図ります。

ウ 住宅系

- ・網干区福井や網干区大江島の複合住宅地では、地場産業の育成と軽工業あるいは商業施設等との調和のとれた住宅地の形成を図ります。
- ・一般住宅地では、適切な道路等の整備及び土地利用の誘導を通じて、良好な住環境を備えた中低層住宅地の形成を図ります。

- ・低層住宅を中心としながら、朝日山等の丘陵や田園環境と調和した緑豊かな専用住宅地の形成を図ります。また、垣内津市場地区での土地区画整理事業を推進し、都市施設が整った中低層住宅地の形成を図ります。

エ 保全系

- ・朝日山等の市街地に近接する独立丘陵は、良好な都市環境や都市景観の形成はもとより、歴史的にも重要な緑として保全を図ります。
- ・地域中央部に広がる農地については、農業振興地域に指定されており、農業基盤整備や集落の環境整備を図りつつ、市街地内の貴重な空間として保全、活用します。

③ 都市施設

ア 交通

ア) 公共交通

- ・JR網干駅については、土地区画整理事業にあわせて、駅北側で駅前広場の整備等を推進し、公共交通への乗換えや乗継ぎの利便性を高めるとともに、バリアフリー化を促進します。
- ・山陽電鉄網干線については、現状のサービス水準の維持を図るため、沿線住民とともに活性化に取り組みます。

イ) 道路

- ・播磨地域におけるものづくり力の強化や防災・減災機能の強化、広域交流の円滑化を図るため、播磨臨海地域道路網の早期実現を促進します。
- ・放射道路を構成する海岸線（国道250号）並びに龍野線、広畑幹線及び宮田線等からなる幹線道路網の形成を図ります。また、将来にわたり効率的かつ責任ある都市施設の整備を推進するため、長期未整備の都市計画道路について、廃止を含めた見直しを行います。

ウ) 自転車利用環境

- ・環境負荷の小さい交通手段等として自転車の利用を促進するため、山崎線における自転車レーンの整備を推進するなど、歩行者と自転車が共存した安全で快適に通行できる空間の確保を図ります。

イ 公園・緑地

- ・将来にわたり効率的かつ責任ある都市施設の整備を推進するため、長期未整備の都市計画公園・緑地については、廃止を含めた見直しを行います。また、垣内津市場土地区画整理事業の進展にあわせて、身近に利用できる都市公園の整備を推進します。

ウ 下水道・河川

- ・福井前処理場など老朽化した下水道施設の長寿命化、計画的な更新を図ります。
- ・都市化の進展に伴う雨水流出量の増大と集中豪雨による浸水被害の軽減を図るため、

計画的な雨水排水施設等の整備を図ります。

- ・平成25年7月に策定された「揖保川水系河川整備計画」に基づき、整備費用と得られる効果、影響を考慮した計画的な整備を促進します。

エ その他

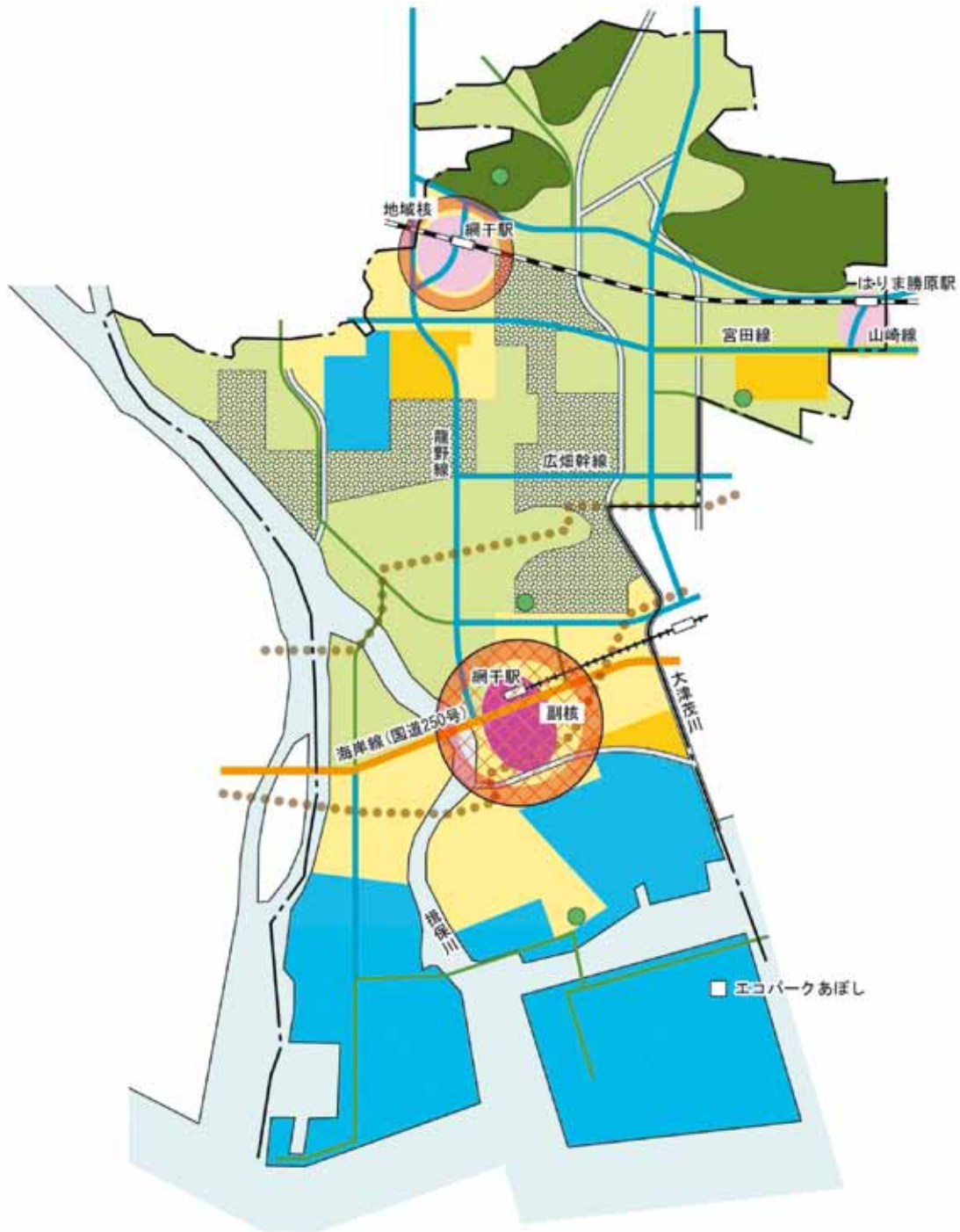
- ・ごみ焼却の余熱を利用して市民の健康づくりをサポートする「網干健康増進センター『リフレ・チョーサ』」及び楽しみながら地球問題やごみ問題を学べる「網干環境学習センター」を併設するエコパークあぼしの効果的な利用増進を図ります。

④ 防災

- ・地域防災拠点として網干支所、朝日中学校、網干南公園、大津団地第二公園を配置するとともに、各小学校をコミュニティ防災拠点として配置します。これらの施設については、耐震性の向上や設備等の自立性を確保するなど防災機能の強化を図ります。
- ・避難対象地区では、南海トラフ地震が発生した場合に津波による浸水被害が想定されるため、地域住民等が参画した津波避難計画を策定するとともに、津波避難計画に基づく避難場所や避難路の確保を図ります。
- ・津波接近時の安全対策として、災害時要援護者や救助活動に従事する者等が緊急的に一時避難するための津波避難ビルの確保を推進します。

⑤ 景観

- ・浜街道が通る興浜界隈の歴史的町並みを、歴史的町並み景観形成ゾーンとして位置付け、港町の歴史的景観の保全、継承を図ります。
- ・景観形成上重要な建造物については、その保存、修復を図るとともに、まちづくりの中での活用を図ります。
- ・地域北端の朝日山については、豊かな自然や歴史等を生かしながら、より魅力的で親しまれる空間となるよう適切な維持管理と利用環境の向上を図ります。



凡		例	
土 地 利 用		都 市 施 設	
拠点商業業務地	一般住宅地	自動車専用道路	補助幹線道路
商業業務地	専用住宅地	幹線道路（環状）	歴史街道軸
工業地	農地・集落地	幹線道路（放射）	J R 線
複合住宅地	山地・丘陵	幹線道路（その他）	山陽電鉄
		主要公園・緑地・墓園	一級・二級河川
		水辺	自転車レーン等整備路線

■ 網干ブロックの将来像